

シリーズ No.3 新体カテスト

【下関市立菊川中学校の取組】

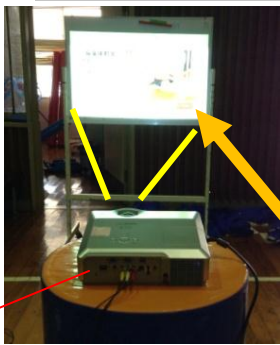
菊川中学校では、「体づくり運動」の時間に、長座体前屈の測定を行い、自他の柔軟性の実態を確認しました。

担当の畠中先生は、「本時のめあて」を示すことはもちろん、「各自の目標を立てて取り組む」ことを生徒に意識させて授業を行ったり、映像資料※等も活用したりして、正確な実施方法を生徒に理解させていました。

また、体ほぐしの運動で心と体を解放し、準備運動を十分行うことで、生徒がもっている能力をしっかりと発揮できるよう、工夫されていました。



① 映像と写真の資料及び実際の説明による確実な実施方法の理解



プロジェクター活用！



畠中先生の指導の様子

※「子どもに経験させたい運動・遊び」映像資料のこと

② 十分な準備運動の後、精一杯の力を発揮



準備運動の様子



長座体前屈測定の様子

◎保健体育科の役割とは・・・。

今回は、3年生（男女共習）の授業でした。男女の仲が良く、運動が得意な生徒もそうでない生徒も体育を楽しんでいる様子が伝わってきました。これこそ、保健体育科の目標の一つである「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成」を目指した授業の姿だと感じました。

担当の畠中先生は、「学校教育活動全体の中で、体育科、保健体育科授業が果たす役割の重要性を学校全体及び地域にもっと発信しなければいけません。また、教員はよりよい授業のために、常に学び続けなければいけませんね。」と熱く語っていらっしゃいました。